

創立記念日を迎えるにあたり

11月14日は登美ヶ丘高校34回目の創立記念日です。

本校は昭和62年(1987年)4月に開校されました。日本書紀や古事記に記された「とびのむら鷄邑」の「登美」に由来した地である、「登美ヶ丘」という地名を校名としています。



校章の外輪は、中世より伝承された輪花天目盆をデザイン化し、古人が茶道を通して豊かな心と友愛の輪を広げたとされている精神を受け継いでいます。内側は、学校周辺に自生する「コバノミツバツツジ」の三つ葉を表すとともに、西の京、矢田、生駒丘陵を象徴し、知・徳・体の成長を願っています。中央の高は、灯ろうをかたど象り、その光が県内に輝き、新しい校風の樹立と発展につながることを念じて作成されました。

本校は、令和4年3月をもって閉校しますが、登美ヶ丘高校の伝統と校風を国際高校に伝えつつ、有終の美をかざることができるよう、私たち一人ひとりが、一日一日を大切にして、充実した日々を過ごすことが出来るようにしたいものです。

